＜先週の説教から＞

『詩編 １９―天は神の栄光を語る』

詩 編　１９：１～１５

ローマの信徒への手紙　１０：１７～１８

この詩編の最初「天は神の栄光を物語り、大空は御手の業を示す。昼は昼に語り伝え、夜は夜に知識を送る。話すことも、語ることもなく、声は聞こえなくても、その響きは全地に、その言葉は世界の果てに向かう。」は、多くの人々に愛されて来ました。私もかつての『讃美歌』の交読文でここを読み、感動したことを思い出します。作曲家ハイドンがオラトリオ「天地創造」の中で合唱隊に歌わせているのも有名です。

それだけにこれらの言葉は誤解を受けて来た歴史もあります。それはこの詩編が天体や太陽などの自然を崇拝していると読まれて来たのでした。そうではありません。よく読むと、天体やこの自然の背後に「神の栄光」があり、「御手の業」を示している点を素晴らしいと言っているのです。特に、それら星や太陽の運行が整然として進められて行く様子の背後に、神様の御導きを感じ取っているのです。そして、それら天体の運行を導いているものは(私たちには聞こえないけれども)、神様の「言葉」であり「響き」なのだと。これは創世記の天地創造の最初に、神様が「光あれ。」と言われて光ができたこと、次に「水の中に大空あれ。水と水とを分けよ。」と言われて大空の上の水(＝雨など)と下の水が造られたこと等を思い出させます。同時に、ヨハネによる福音書の「初めに言(＝ことば)があった。言は神と共にあった。」も思い浮かべることができます。まさに、神様はこの世界の被造物のすべてを今も支配し、導いておられるのです。

ただ、次にこの詩編は急に「主の律法は完全で、魂を生き返らせ、主の定めは真実で、無知な人に知恵を与える。」と語り始めます。この律法とは原文で（トーラー）であり、旧約聖書にある十戒を中心とする律法のことを指しますが、どうして急に律法へと変わるのでしょうか？　最初の天体の運行と聖書の律法とがどう関係しているでしょうか？

実は、ここの前提となっていることは、私たち人間も神様によって造られた被造物であるという事実です。そうであるならば、この天体と同じように私たちにも神様からの言、語り掛けが届いているはずだと。それこそ「主の律法」なのだと。ですから、この主の教えに従って生きて行けば(＝天体が整然と運行しているように)、私たちも造られた人間としてふさわしい生き方ができるのだと語っているのです。しかも、私たちにはちゃんと理解できるように明確な言葉として教えられているではないかと。これに聞き従うならば「魂を生き返らせ」「心に喜びを与え」「目に光を与える」ようになると！故に「あなたの僕はそれらのことを熟慮し、それらを守って大きな報いを受けます。」と告白しているのです。これら後半の言葉は、まさに私たちにとっては、律法というより、イエス様のみ言葉であり、それを示してくれている聖書そのものではないでしょうか？　そう読んでかまわないと思います。

面白いのは、この詩人は、その上で「知らずに犯した過ち、隠れた罪から、どうかわたしを清めてください。あなたの僕を奢(おご)りから引き離し、支配されないようにしてください。そうすれば、重い背きの罪から清められ、わたしは完全になるでしょう。」と続けている点です。ここには、十戒や律法など文書になっている戒めを守っているだけでは、表に現れない、隠れる罪が出るということが前提とされています。

ここで言われている“奢(おご)り”とは、まさにそのような、決められている法律だけ守り、表向きに罪を犯さなければ正しい人間だと思っています人間の愚かさを指します。人にばれなければ何をしても良いというような愚かな思いに「支配されないように」清めてくださいと祈っているのです。

この感性や祈りに学ばされます。だからこそ、常に神様の言葉や声を聴き分けていく必要が私たちにはあるのです。少なくとも、神様はすべて分かっておられるのだから！

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【今週の集会】

◉聖書研究・祈祷会 Ⅰ.　10月 6日 (水) 20：00

Ⅱ.　10月 7日 (木) 10：30

聖　　書：　エゼキエル書

祈祷主題：　求道者を覚えて

担 当 者：　(水) 伊藤　　(木) 高草木

祈 る 人：　岡田さん　　岡本さん

【教勢報告】

主日礼拝　　無会衆

祈祷会 ⅠとⅡ.　休会　　日曜学校　　休　校

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【次週礼拝】　　１０月　１０日（日）

聖　書：　イザヤ書　１１：１～１０

ヨハネの黙示録　２２：１４～１７

説　教：　「黙示録６９　―　ダビデのひこばえ、輝く明星」　　武田 真治 牧師

讃美歌：　５８、３２、１８２、２７６、８８

【次週当番表】

司式：相浦長老　奏楽:中村　礼拝:齋藤長老

献金：山田　吉岡　　受付：飯田　吉岡

会堂準備：飯島　岡本　金刺　中村　新元

看板：飯田　　週報：金刺　　お花：金刺

【次週集会予定】礼拝前：求道者会　・聖書輪読会

礼拝後：・壮年会　・婦人会　・幼稚園理事会

６２－４０

週　報

2021 年度　教会標語

「信仰に支えられて、共に生きよう！」

２０２１年　１０月　３日

日本キリスト教団　**上尾合同教会**

牧　師　　武田　真治

〒362-0041　上尾市富士見２－３－33

TEL＆FAX　048－771－6549

http://www.ageo-church.org/